

大分県ポートセールス実行委員会
会長 安東 隆 様

※助成2年目の方は6ページをご覧ください

申請者

住 所 東京都千代田区●●●●
名 称 ◇◇◇株式会社
代表者職・氏名 代表取締役社長 ☆☆ ☆☆

代表者印

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金交付申請書

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金の交付を受けたいので、同交付要綱第7条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成対象年度 平成30年度
- 2 助成金交付申請額 金 5,204,000 円
- 3 事業計画

- (1) 利用転換助成
大分港大在コンテナターミナル利用計画

貨物名	利用転換貨物量	国内の仕入地又は仕出地の所在(市町村名まで)
○○○等化成品ほか	506本	大分市、佐伯市

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額
10,000円 × 506本 = 5,000,000 円(上限額500万円)
(a)

- (2) デマレッジ助成
デマレッジ発生予測 単位:円

貨物名	発生予測数	全体デマレッジ額	助成対象デマレッジ額	船社名
●●●	20本	1,594,400	680,000	☆☆☆☆ライン

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額
助成対象デマレッジ額 680,000 円 × 30% = 204,000 円(千円未満切捨て)
(b)

- 4 その他
- (1) 申請者が商社の場合はクライアント名を記入

名 称	代表者職・氏名

- 5 添付書類
- (1) 事業計画明細書(第1号様式の1~4)・・・該当する様式のみ添付
- (2) 登記事項証明書(個人事業者の場合は、現に活動を行っていることを証明できる書類)
- (3) 平成28年度大在CT利用実績が確認できる海運貨物取扱業者からの証明書(第2号様式)
- (4) 申請者が海運貨物取扱業者の場合は、荷主からの承諾書(第3号様式)
- (5) その他
- ※ (2)~(4)の書類については、助成初年度のみ添付

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他港からの利用転換貨物(H28年度大分港利用実績なし)]

輸出入の別		輸出		輸出		輸入		
助成対象貨物名		〇〇〇等化成品		△△△ほか		〇〇〇原材料		
相手国名		タイ、マレーシアほか		中国		ベトナム		
相手港名		レムチャバン、ポートケランほか		寧波、青島		ハイフォン		
他港 利用 状況	助成 開始 前年 度	国内利用港	博多港、門司港		門司港		博多港	
		コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数		25本	20本	5本		13本
TEU換算		TEU	50TEU	20TEU	10TEU	TEU	26TEU	
大在 C T 利用 状況	助成 1年目 H30	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数		25本	10本	5本		10本
		TEU換算	TEU	50TEU	10TEU	10TEU	TEU	20TEU
	助成 2年目 H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数						
	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	
助成 3年目 H32	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数							
TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU		

輸出入の別						計		
助成対象貨物名								
相手国名								
相手港名								
他港 利用 状況	助成 開始 前年 度	国内利用港						
		コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					20本	43本
TEU換算		TEU	TEU	TEU	TEU	20TEU	86TEU	
大在 C T 利用 状況	助成 1年目 H30	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					10本	40本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	10TEU	80TEU
	助成 2年目 H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					本	本
	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	
助成 3年目 H32	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数					本	本	
TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU		

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	50本
---------	-----

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他港からの利用転換貨物(H28年度大分港利用実績あり)]

輸出入の別		輸出			輸入			
助成対象貨物名		◇◇◇			★★★			
相手国名		中国			インド			
相手港名		上海、天津ほか			ナバシェバ			
他港 利用 状況	国内利用港	門司港			博多港			
	助成 開始 前年度	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	50本	30本	10本	5本			
	TEU換算	50TEU	60TEU	10TEU	10TEU	TEU	TEU	
大在 CT 利用 状況	助成 1年目 H30	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	55本	25本	8本	5本		
		TEU換算	55TEU	50TEU	8TEU	10TEU	TEU	TEU
	助成 2年目 H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
	助成 3年目 H32	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
TEU換算		TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	

大在 CT 利用 状況	H28 年度	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	30本	10本	10本			
		TEU換算	30TEU	20TEU	10TEU	TEU	TEU	TEU
		船社名						
		乙仲名						

H28年度から 助成対象年 度までの増 加数	増加本数	25本	15本	-2本	5本	本	本
	TEU換算	25TEU	30TEU	-2TEU	10TEU	TEU	TEU
		55TEU		8TEU		TEU	
助成対象本数		40本		4本		本	

合計を記入

助成対象貨物量	44本
---------	-----

○助成対象本数算定手順

- ① 20F・40F毎に助成対象年度の本数からH28年度の本数を引いた数を記入(マイナスの場合も記入)
- ② 20F・40Fのどちらにもマイナスがない場合は、20Fと40Fの増加本数の計が助成対象本数
- ③ 20F・40Fのどちらかにマイナスがある場合はTEU換算し、その合計(TEU)がゼロ又はマイナスの場合は助成対象外。プラスの場合は④の計算を行う
- ④ 増加しているコンテナサイズが20Fの場合は増加したTEUの数が助成対象本数
40Fの場合は増加したTEUの数を2で除した数(小数点以下切り上げ)が助成対象本数

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他の輸送手段からコンテナ輸送に利用転換し大分港を利用した貨物]

輸出入の別		輸入				合計	
助成対象貨物名		●●●					
相手国名		オーストラリア					
輸送方法		バルク船					
助成 開始 前年度	輸送 ルー ト	仕出港	アデレード港		港(空港)		
		仕向港	大分港(自社バース)		港(空港)		
H	貨物 量	RORO船	台		台		
		その他	15,000トン		トン		
助成 1年目 H30	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	400本				400本	本
助成 2年目 H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数					本	本
助成 3年目 H32	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数					本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	400本
---------	------

[新規貿易貨物]

輸出入の別		輸出				合計	
助成対象貨物名		■◇■					
相手国名		台湾					
相手港名		高雄					
助成 1年目 H30	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F		
	本数	12本				12本	本
助成 2年目 H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数					本	本
助成 3年目 H32	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数					本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	12本
---------	-----

事業計画明細書

2 デマレッジ助成

(1)大在CTにおけるデマレッジ発生状況及び今年度助成予測

貨物名:	●●●	
船社名:	☆☆☆☆ライン	・・・デマレッジを支払う船社
フリータイム:	7	日

例1	・利用転換助成対象貨物のデマレッジ発生状況及び見込				単位:円
	期間		今年度	前年度	前々年度
2018年5月1日)	発生本数		5		
	全体デマレッジ額		398,600		
2017年8月31日	助成対象デマレッジ額		164,500		
年度計	発生本数		20		
	全体デマレッジ額		1,594,400		
	助成対象デマレッジ額		680,000		
デマレッジ発生予測の考え方	・6～8月の3ヶ月間の発生本数は基に、9月以降7ヶ月間の本数を計算すると約12本となり、年間見込は17本となる ・貨物量は今後増やしていく計画であるため、今年度のデマレッジ発生本数を20本と推測した ・上記船社の7日後までのデマレッジ額は約34,000円であるため、本数20本を乗じた680,000円を助成対象額とした				

※平成28年度に大在CTを利用していた貨物のデマレッジ本数は、上記の発生本数に算入しないこと。

例2	・利用転換助成対象貨物のデマレッジ発生状況及び見込				単位:円
	期間		今年度	前年度	前々年度
年 月 日)	発生本数				
	全体デマレッジ額				
年 月 日	助成対象デマレッジ額				
年度計	発生本数		10		
	全体デマレッジ額		200,000		
	助成対象デマレッジ額		200,000		
デマレッジ発生予測の考え方	・12月と3月に40Fコンテナで20本ずつを輸入予定 ・フリータイム期間中に工場へ搬入できる本数は約10本であるため、残り10本にデマレッジが発生すると推測した ・この10本のデマレッジ額は、約200,000円となり7日以内に全量搬出可能である。				

※平成28年度に大在CTを利用していた貨物のデマレッジ本数は、上記の発生本数に算入しないこと。

大分県ポートセールス実行委員会
会長 安東 隆 様

申請者

住 所 東京都千代田区●●●●
名 称 ◇◇◇株式会社
代表者職・氏名 代表取締役社長 ☆☆ ☆☆

代表者印

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金交付申請書

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金の交付を受けたいので、同交付要綱第7条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成対象年度 平成30年度
- 2 助成金交付申請額 金 4,640,000 円
- 3 事業計画

- (1) 利用転換助成
大分港大在コンテナターミナル利用計画

貨物名	利用転換貨物量	国内の仕入地又は仕出地の所在(市町村名まで)
○○○等化成品ほか	460本	大分市、佐伯市

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額

$$10,000円 \times 460本 = \frac{4,600,000}{(a)} 円 (上限額500万円)$$

- (2) デマレッジ助成
デマレッジ発生予測

単位:円

貨物名	発生予測数	全体デマレッジ額	助成対象デマレッジ額	船社名
●●●	4本	155,000	135,000	☆☆☆☆ライン

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額

$$\text{助成対象デマレッジ額} \quad 135,000 円 \times 30\% = \frac{40,000}{(b)} 円 (千円未満切捨て)$$

- 4 その他

- (1) 申請者が商社の場合はクライアント名を記入

名 称	代表者職・氏名

- 5 添付書類

- (1) 事業計画明細書(第1号様式の1~4)・・・該当する様式のみ添付
 - (2) 登記事項証明書(個人事業者の場合は、現に活動を行っていることを証明できる書類)
 - (3) 平成28年度大在CT利用実績が確認できる海運貨物取扱業者からの証明書(第2号様式)
 - (4) 申請者が海運貨物取扱業者の場合は、荷主からの承諾書(第3号様式)
 - (5) その他
- ※ (2)~(4)の書類については、助成初年度のみ添付

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

29年度の実績本数を記入してください

[他港からの利用転換貨物(H28年度大分港利用実績なし)]

輸出入の別		輸出		輸出		輸入		
助成対象貨物名		〇〇〇等化成品		△△△ほか		〇〇〇原材料		
相手国名		タイ、マレーシアほか		中国		ベトナム		
相手港名		レムチャバン、ホートケランほか		寧波、青島		ハイフォン		
他港利用状況	助成開始前年度	国内利用港	博多港、門司港		門司港		博多港	
		コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数		25本	20本	5本		13本
TEU換算		TEU	50TEU	20TEU	10TEU	TEU	26TEU	
大在CT利用状況	助成1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数		22本	8本	6本		11本
		TEU換算	TEU	44TEU	8TEU	12TEU	TEU	22TEU
	助成2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数		25本	10本	10本		15本
		TEU換算	TEU	50TEU	10TEU	20TEU	TEU	30TEU
助成3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数							
	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	

30年度の予定本数を記入してください

輸出入の別						計		
助成対象貨物名								
相手国名								
相手港名								
他港利用状況	助成開始前年度	国内利用港						
		コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					20本	43本
TEU換算		TEU	TEU	TEU	TEU	20TEU	86TEU	
大在CT利用状況	助成1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					8本	39本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	8TEU	78TEU
	助成2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数					10本	50本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	10TEU	100TEU
助成3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数					本	本	
	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	60本
---------	-----

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他港からの利用転換貨物(H28年度大分港利用実績あり)]

輸出入の別		輸出		輸入				
助成対象貨物名		◇◇◇		★★★				
相手国名		中国		インド				
相手港名		上海、天津ほか		ナバシェバ				
他港利用状況	国内利用港	門司港		博多港				
	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数	50本	30本	10本	5本			
助成開始前年度	TEU換算	50TEU	60TEU	10TEU	10TEU	TEU	TEU	
大在CT利用	助成1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	48本	18本	8本	6本		
	H29	TEU換算	48TEU	36TEU	8TEU	12TEU		
	助成2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	50本	20本	10本	5本		
	H30	TEU換算	50TEU	20TEU	10TEU	5TEU	TEU	TEU
H31	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
H31	本数							
H31	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	

29年度の実績本数を記入してください

30年度の予定本数を記入してください

29年度申請時と同じ

大在CT利用状況	H28年度	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	30本	10本	10本			
		TEU換算	30TEU	20TEU	10TEU	TEU	TEU	TEU
		船社名						
乙仲名								

H28年度から助成対象年度までの増加数	増加本数	20本	10本	本	5本	本	本
	TEU換算	20TEU	20TEU	TEU	10TEU	TEU	TEU
助成対象本数		30本	5本			本	

合計を記入

助成対象貨物量	35本
---------	-----

○助成対象本数算定手順

- ① 20F・40F毎に助成対象年度の本数からH28年度の本数を引いた数を記入(マイナスの場合も記入)
- ② 20F・40Fのどちらにもマイナスがない場合は、20Fと40Fの増加本数の計が助成対象本数
- ③ 20F・40Fのどちらかにマイナスがある場合はTEU換算し、その合計(TEU)がゼロ又はマイナスの場合は助成対象外。プラスの場合は④の計算を行う
- ④ 増加しているコンテナサイズが20Fの場合は増加したTEUの数が助成対象本数
40Fの場合は増加したTEUの数を2で除した数(小数点以下切り上げ)が助成対象本数

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他の輸送手段からコンテナ輸送に利用転換し大分港を利用した貨物]

輸出入の別		輸入				合計		
助成対象貨物名		●●●						
相手国名		オーストラリア						
助成 開始 前年度	輸送方法		バルク船					
	輸送 ルー ト	仕出港	アデレード港		港(空港)			
仕向港		大分港(自社バース)		港(空港)				
H28	貨物 量	RORO船			台			
		その他	15,000トン		トン			
助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数	316本					本	
H29	TEU換算	316TEU	TEU	TEU	TEU	316TEU	TEU	
助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数	350本					本	
H30	TEU換算	350TEU	TEU	TEU	TEU	350TEU	TEU	
助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数						本	
H31	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	350本
---------	------

[新規貿易貨物]

輸出入の別		輸出				合計	
助成対象貨物名		■◇■					
相手国名		台湾					
相手港名		高雄					
助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	15本					本
H29	TEU換算	15TEU	TEU	TEU	TEU	15TEU	TEU
助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	15本					本
H30	TEU換算	15TEU	TEU	TEU	TEU	15TEU	TEU
助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数						本
H31	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	15本
---------	-----

事業計画明細書

2 デマレージ助成

(1)大在CTにおけるデマレージ発生状況及び今年度助成予測

貨物名: ●●●
 船社名: ☆☆☆☆ライン ……デマレージを支払う船社
 フリータイム: 7 日

例1 ・利用転換助成対象貨物のデマレージ発生状況及び見込 単位:円

期間		今年度	前年度	前々年度
2018年4月1日 ～ 2018年8月31日	発生本数	2	3	
	全体デマレージ額	153,000	215,000	
年度計	助成対象デマレージ額	66,000	99,000	
	発生本数	4	5	
	全体デマレージ額	155,000	368,000	
	助成対象デマレージ額	135,000	154,500	
デマレージ発生 予測の考え方	・昨年度の発生状況及び今年度4～8月の発生本数を基に、9月以降の本数を2本と予測した			

※平成28年度に大在CTを利用して発生したデマレージ本数は、30年度の見込を記入してください。29年度の実績を記入してください。本数に算入しないこと。

例2 ・利用転換助成対象貨物のデマレージ発生状況及び見込 単位:円

期間		今年度	前年度	前々年度
2018年4月1日 ～ 2018年8月31日	発生本数	1	0	
	全体デマレージ額	57,000		
年度計	助成対象デマレージ額	45,000		
	発生本数	3	0	
	全体デマレージ額	180,000		
	助成対象デマレージ額	135,000		
デマレージ発生 予測の考え方	・昨年度は実績が無かったが、今年度8月末までに1本のデマレージが発生した ・9月以降も発生が予想されるため、年間の予想本数を3本とした			

※平成28年度に大在CTを利用して発生した貨物のデマレージ本数は、上記の発生本数に算入しないこと。